アジア州

名前

問1　南アジアに位置するある国について、2000年から2019年にかけての一人あたりの国民総所得（GNI）が著しく上昇している統計資料があります。また、2019年時点の主要な輸出品目として、石油製品や機械類とともにダイヤモンドが上位を占めているこの国はどこですか。（2024年 島根県公立入試 類似）

1. チリ
2. 南アフリカ共和国
3. イギリス
4. インド

問2　中国の鉄鋼生産量は、1980年の約1534万トンから2000年の約2787万トン、2020年の約3097万トンへと推移しています。この統計が示す鉄鋼生産の動向と、それに関連する中国の社会状況について述べた文として正しいものはどれですか。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. 沿岸部の工業化が一段落したため、2020年に向けて生産量は急激に縮小している。
2. 2000年代以降、鉄鋼生産量は横ばいであり、国内需要はすべて輸入でまかなわれている。
3. 工業化の進展に伴って鉄鋼生産量は一貫して増加しており、経済成長を支える基礎資材となった。
4. 1980年代をピークに生産量は減少に転じており、現在は知識集約型産業が中心となっている。

問3　ベトナムの農業統計において、牛や羊に比べて豚の飼育頭数が突出して多い理由として、最も適切な背景事情はどれか。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. 広大な牧草地が広がっており、大規模な放牧に適しているため
2. 酪農製品の輸出を主要な産業として位置づけているため
3. 乾燥した気候に適応した家畜の飼育が必要であるため
4. 稲作が盛んであり、その副産物を飼料として利用できるため

問4　中国の経済発展に関する地理的な特徴と現在の課題を説明した資料において、中国の状況を正しく説明している内容はどれですか。（2016年 富山県公立入試 類似）

1. 北部のサンベルト地帯に外国企業を誘致した結果、南部の農業地帯との間で深刻な食料不足の問題が生じている。
2. 沿海部の経済特区を中心に輸出向けの工業を発展させた結果、内陸部との間に所得などの経済格差が生じている。
3. 特定の地域を優遇しない全土均等な工業化政策を進めた結果、内陸部と沿海部の格差は解消に向かっている。
4. 内陸部の広大な土地を経済特区として指定した結果、沿海部の港湾都市との間で人口の奪い合いが起きている。

問5　世界の農業において、主要な穀物である米の生産が最も盛んであり、世界全体の生産量の約9割（90%）を占めている州はどこですか。（2021年 宮崎県公立入試 類似）

1. アジア州
2. 北アメリカ州
3. 南アメリカ州
4. アフリカ州

問6　主要な家畜である牛、豚、羊の飼育頭数割合を比較した際、牛や羊の割合が極めて低く、豚の割合が全体の大部分を占める構成を示す国はどこか。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. ベトナム
2. アメリカ
3. オーストラリア
4. フランス

問7　インドネシアがアメリカやフィリピン、アイスランドなどと同様に、地熱発電を盛んに行うことができる自然環境としての理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 赤道直下に位置しており、一年を通じて強い日射量を得られるから
2. 広大な大陸棚を有しており、海底に眠る化石燃料を採取しやすいから
3. 熱帯雨林気候に属しており、安定した降水量による水力を利用できるから
4. 火山帯に位置しており、地下のマグマによる熱源を確保しやすいから

問8　統計資料において、面積が約960万平方キロメートルと非常に広く、2011年時点の国内総生産（GDP）が約73億ドル、輸出額が欧州連合（EU）に次いで190億ドルという高い数値を示している、アジアに位置する国はどこか。（2014年 兵庫県公立入試 類似）

1. 中国
2. アメリカ合衆国
3. 日本
4. インドネシア

問9　2015年における中国の人口構成について、40歳代から50歳代の人口が厚い一方で、10歳代から20歳代の人口が少なく、出生率の低下が顕著に見られる背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. 一人っ子政策の実施により、長期間にわたって強力な産児制限が行われてきたため
2. 生産責任制の導入により、農村部で子供を労働力として必要としなくなったため
3. 西部大開発の影響で内陸部の高齢化が進み、国全体の出生率が引き下げられたため
4. 経済特区の設置によって、周辺諸国へ若年層の労働力が大量に流出したため

問10　タイ、ベトナム、オーストラリアの3か国を比較した統計において、日本からの訪問者数が最も少ない国と、その国から日本へ来る人々の「訪問目的」に関する特徴を組み合わせた説明として正しいものはどれですか。（2016年 兵庫県公立入試 類似）

1. 日本人の訪問者数が最も少ないのはベトナムであり、ベトナムからの訪日客は他国と比較して「観光」目的の割合が70%を超えている。
2. 日本人の訪問者数が最も少ないのはオーストラリアであり、オーストラリアからの訪日客は他国と比較して「業務」目的の割合が最も高い。
3. 日本人の訪問者数が最も少ないのはオーストラリアであり、オーストラリアからの訪日客は他国と比較して「観光」目的の割合が最も高い。
4. 日本人の訪問者数が最も少ないのはタイであり、タイからの訪日客は他国と比較して「業務」目的の割合が最も低い。

問11　東南アジアのインドシナ半島東部に位置するベトナム社会主義共和国では、米の粉を使った麺料理「フォー」が代表的な食文化となっています。このように、ベトナムで米を原料とする料理が広く普及している地理的背景として、最も適切な説明を選びなさい。（2015年 大分県公立入試 類似）

1. 国土の大部分が冷涼な高原地帯であり、寒さに強い特殊な米の品種改良が古くから進んだため。
2. メコン川などの大河の下流に広がる平野部を中心に、高温多雨な気候を活かした稲作が盛んであるため。
3. 季節風（モンスーン）の影響を全く受けない安定した気候により、年間を通じて小麦の生産が困難であったため。
4. 年間を通して降水量が極めて少ないため、乾燥に強い穀物である米の栽培が唯一の農業手段であったため。

問12　アジアNIESに分類される韓国やシンガポールなどが、1970年代から短期間で急速な経済成長を遂げることができた主な理由として、最も適切なものはどれですか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）

1. 海外の資本や技術を積極的に導入し、輸出を中心とした工業化を推進したため。
2. 食料の自給自足を達成するため、工業化を抑制して農業開発を最優先したため。
3. 石炭や鉄鉱石などの豊富な地下資源を自国で産出し、その輸出に依存したため。
4. 10億人を超える膨大な人口を背景に、巨大な国内市場向けの生産を拡大したため。

問13　中国は「世界の工場」として急速な経済成長を遂げ、日本にとっても最大の貿易相手国の一つとなっています。2021年の統計において、中国から日本への輸出総額は約20兆円に達していますが、その輸出額の上位を占める品目の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 第1位：機械類、第2位：石油・石炭製品、第3位：鉄鋼
2. 第1位：自動車、第2位：医薬品、第3位：衣類
3. 第1位：米、第2位：魚介類、第3位：木材
4. 第1位：鉄鉱石、第2位：原油、第3位：大豆

答え合わせ・解説

問1	答え 4 インド	1990年代以降の経済自由化をきっかけに、南アジアでは急速な経済成長を遂げる国が現れました。IT産業の発展が有名ですが、貿易面では石油製品や機械類、さらには輸入した原石を国内で加工して再輸出するダイヤモンドなどの品目が上位を占めており、国民総所得の向上を支えています。
問2	答え 3 工業化の進展に伴って鉄鋼生産量は一貫して増加しており、経済成長を支える基礎資材となった。	1980年代から2020年にかけての数値の推移は、中国が持続的に経済規模を拡大させてきた過程を裏付けています。鉄鋼は自動車製造、機械産業、建築業などのあらゆる工業分野で不可欠な素材であるため、その生産量の増加は、中国における重化学工業の発展と密接に結びついています。
問3	答え 4 稲作が盛んであり、その副産物を飼料として利用できるため	ベトナムを含む東南アジアの多くの地域では米作りが農業の中心です。豚は雑食性であり、精米の際に出るぬかや調理残渣などを飼料として有効活用できるため、農家にとって飼育しやすい家畜として定着しています。一方、「広大な牧草地」はアメリカなどの新大陸、「乾燥した気候」は西アジアなどの羊の飼育に関連する記述です。
問4	答え 2 沿海部の経済特区を中心に輸出向けの工業を発展させた結果、内陸部との間に所得などの経済格差が生じている。	中国では外国企業が進出しやすいよう、税制の優遇措置などを設けた「経済特区」を沿海部の都市に設置しました。これにより沿海部は急速な工業化を成し遂げましたが、農業が中心でインフラ整備が遅れた内陸部との間には、賃金や生活環境の面で大きな開きが出ています。この経済格差を是正するために、中国政府は「西部大開発」などの政策を通じて内陸部の発展を促しています。
問5	答え 1 アジア州	世界の米の生産量は、中国やインド、インドネシアなどが位置するアジア州に圧倒的に集中しています。アジア州は世界の生産量全体の約90%を占めています。
問6	答え 1 ベトナム	稲作地帯に位置するベトナムは、伝統的に豚肉を好む食文化があり、飼育頭数も豚が圧倒的多数を占めます。これに対し、フランスやアメリカは牛の飼育も盛んであり、オーストラリアは羊の飼育割合が高いという特徴があります。各国の農業環境と家畜の構成比を結びつけて理解しておくことが重要です。
問7	答え 4 火山帯に位置しており、地下のマグマによる熱源を確保しやすいから	地熱発電は、地下のマグマの熱によって生じた蒸気や熱水を利用してタービンを回す発電方式です。そのため、新期造山帯などの火山が多く分布する地域で発達します。インドネシアは環太平洋造山帯に属する火山国であるという地形的特徴が、地熱発電の普及に直結しています。
問8	答え 1 中国	中国はロシア、カナダ、アメリカに匹敵する世界有数の面積を持つ国です。広大な国土と膨大な人口を背景に、21世紀に入ってから急速な経済発展を遂げ、世界第2位の経済大国となりました。特に工業製品の輸出において世界経済の中で極めて重要な役割を果たしています。
問9	答え 1 一人っ子政策の実施により、長期間にわたって強力な産児制限が行われてきたため	中国では1979年から「一人っ子政策」と呼ばれる厳格な人口抑制策が実施されました。この政策により出生率が急速に低下したため、2015年時点の人口構成では、政策実施前に生まれた世代（40～50代）に比べて、それ以降に生まれた世代の人口が少なくなるという特徴的な形になりました。現在は労働力不足や少子高齢化への懸念から、この政策は廃止されています。
問10	答え 2 日本人の訪問者数が最も少ないのはオーストラリアであり、オーストラリアからの訪日客は他国と比較して「業務」目的の割合が最も高い。	統計分析によると、タイ・ベトナム・オーストラリアの3か国のうち、日本人の訪問者数が最も少ないのは約32万人のオーストラリアです。一方で、これらの国から日本へ来る人々の目的を分析すると、オーストラリアは他国に比べて「業務」目的で来日する人の割合が最も高いという特徴があります。これは、訪問者数という「量」だけでなく、訪問目的という「質」の構成比に注目することで、国ごとの交流の性格の違いを理解する重要な視点となります。
問11	答え 2 メコン川などの大河の下流に広がる平野部を中心に、高温多雨な気候を活かした稲作が盛んであるため。	ベトナムを含む東南アジアの大陸部は、季節風（モンスーン）の影響を受ける高温多雨な気候であり、メコン川などの大河川がもたらす肥沃な平野部を利用した稲作が非常に盛んです。そのため、米を主食とするだけでなく、米の粉を加工した「フォー」や「ライスペーパー」などの多様な米食文化が発展しました。対照的に、乾燥に強いのは小麦やトウモロコシなどであり、ベトナムの自然環境とは異なります。
問12	答え 1 海外の資本や技術を積極的に導入し、輸出を中心とした工業化を推進したため。	アジアNIESの国や地域は、外資（海外の企業の資金）や先進的な技術を積極的に取り入れ、自国で製造した製品を海外へ輸出することで経済を拡大させる「輸出指向型」の工業化政策を採用しました。これにより、資源が少ない中で急速な発展を可能にしました。広大な国土や膨大な人口、豊富な地下資源に頼る成長モデルとは異なるのが特徴です。
問13	答え 1 第1位：機械類、第2位：石油・石炭製品、第3位：鉄鋼	中国は改革開放政策以降、外資企業を誘致して工業化を進め、現在では付加価値の高い工業製品の輸出が中心となっています。日本への輸出においても、スマートフォンやパソコンを含む機械類が最も大きな割合を占め、次いで石油・石炭製品や鉄鋼などの重化学工業製品が上位にランクインしています。かつて主力だった衣類などの軽工業品に加えて、高度な工業製品の輸出が拡大しているのが特徴です。